

12月定例会

長期的な視野に立った維持管理を 海老名市公共施設再編計画 策定委員会条例を可決

平成26年第4回定例会を11月28日から12月15日までの会期で開催しました。今定例会では専決処分1件を承認し、海老名市立中央図書館の大規模改修工事契約、一般会計および各特別会計補正予算案など議案23件、意見書4案を原案可決し、経済建設常任委員会にて陳情2件中1件を了承しました。主な議案等は本面、会議および陳情の詳細結果は最終面の一覧表のとおりです。

＊＊主な条例＊＊

○海老名市公共施設再編計画策定委員会条例の制定について：市内公共施設の将来の更新問題に対応する再編計画の策定に關し、調査・検討を行い答申を行う委員会の設置条例を制定するものです。採決の結果、賛成多数で原案可決されました。

○海老名市地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の制定について：「地方の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に關する法律」の施行に伴い、地域包括支援センターにおける包括的支援事業を実施する基準を定めるものです。採決の結果、全員賛成で原案可決されました。

○海老名市火災予防条例の一部改正について：消防法施行令の改正に伴い、屋外で多数の者が集まる催しでの防火管理に關する規定を追加するものです。採決の結果、全員賛成で原案可決されました。

＊＊補正予算＊＊

○一般会計予算（第3号）：平成26年12月

14日執行の衆議院議員総選挙にかかわる経費について地方自治法第179条1項の規定に基づき専決処分したとの報告がありました。採決の結果、全員賛成で承認されました。

○一般会計予算（第4号）：事業の早期完成を図るため、翌年度以降の事業を前倒しし、また除雪用重機の確保や民間医療機関における災害医療体制の支援、新たな低公害車である燃料電池車（FCV）の導入、将来の更新問題に対応する公共施設等あんしん基金への積み立てなどを行うものです。歳入歳出それぞれ4億5049万円8千円を追加し、予算総額は48億1160万2千円となります。採決の結果、賛成多数で原案可決されました。

＊＊住居表示＊＊

○町区域の変更について：中新田地区で予定する開発行為に伴い、中新田五丁目の一部を中新田三丁目に編入するものです。採決の結果、全員賛成で原案可決されました。

＊＊工 事＊＊

○工事請負契約の締結について（海老名市立中央図書館大規模改修工事（建築））
○工事請負契約の締結について（海老名市立中央図書館大規模改修工事（機械設備））
○工事請負契約の締結について（海老名市立中央図書館大規模改修工事（電気設備））
：それぞれ工事請負契約を締結するため、議会の議決を求めるものです。採決の結果、賛成多数で原案可決されました。



中央図書館（イメージ）

＊＊可決した意見書＊＊

○建設作業従事者のアスベスト被害の早期救済・解決を求める意見書：建設アスベスト被害者とその遺族が生活できるような救済措置の実施と、被害拡大を防ぐ対策を行い、問題の早期解決を求めるもので、全員賛成で可決しました。意見書は海老名市議会の意見として、内閣総理大臣、衆議院・参議院議長、厚生労働大臣、国土交通大臣、環境大臣へ送付しました。

○医師・看護師の労働環境改善を求める意見書：国民のいのちと暮らしを守る医療現場は深刻な人手不足であり、安全・安心の医療を実現するためにも、医師・看護師の増員・夜勤環境改善などによる労働環境の改善を求めるもので、全員賛成で可決しました。意見書は海老名市議会の意見として、内閣総理大臣、衆議院・参議院議長、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、神奈川県知事へ送付しました。

○介護・障害福祉従事者及び保育労働者の処遇改善・人材確保に関する意見書：福祉の人材不足が社会問題であり、福祉人材確保指針に沿って恒久的な人材確保施策を図るためにも国の責任による対策を求めるもので、全員賛成で可決しました。意見書は海老名市議会の意見として、内閣総理大臣、衆議院・参議院議長、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、神奈川県知事へ送付しました。

○国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書：国会及び政府は日本国憲法について、国会において活発かつ広範な議論を推進するとともに、国民的議論を喚起することを強く求めるもので、賛成多数で可決しました。意見書は海老名市議会の意見として、内閣総理大臣、衆議院・参議院議長、総務大臣、財務大臣へ送付しました。

＊＊人事案件＊＊

▽人権擁護委員（再任）
・藤田才：海老名市青少年指導員連絡協議会会長を経て24年4月より人権擁護委員。東柏ヶ谷在住、62歳。